

Global Strategy Com Meeting #10

Date: 2016 March 1, Tuesday 10:00-12:10

Room: Gakkai Center Bldg, B1F Meeting Rm, 2-4-16 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo

Attendee:

Global Strategy Committee (GSC) members: Gaku Kimura (Chair), Shigeko Haruyama, Toshiyuki Hibiya, Yukio Himiyama, Kensei Kobayashi, Eiji Ohtani, Sho Sasaki (Skype), Kanako Seki, Kiyoshi Suyehiro, Fumiko Tajima (Skype), Yukihiro Takahashi (Skype)

Vice Presidents: Hodaka Kawahata, Masato Nakamura

JpGU Office: Yozo Hamano, Kayoko Shirai, Maiko Amano

Regrets:

Simon Wallis, Masaki Fujimoto, Teruyuki Kato, Teruyuki Nakajima, Hiroe Miyake, Yasuhiro Murayama, Hisashi Nakamura, Shogo Tachibana, Ryuji Tada

Distribution:

1: Agenda book (pp.17)

2: Students travel support submission list

3: Abstracts submission status to JpGU2016 sessions

4: Abstracts submissions breakdown to countries

Meeting Summary: ACTION ITEMS

- 1: 学生旅費援助候補者リストを選定小委員会に送り顕彰委員会に委ねる。公表はスケジュール通り(3/10-17) (事務局・未広)
Candidates list of students for travel support to be sent to selection sub-committee under Awards Committee.
- 2: JpGU 会員動向を国際化の観点から把握する。(事務局)
Statistical data need to be collected to grasp the trend from the standpoint of internationalization.
- 3: Conveners' evening と International Mixer Luncheon の中身をつめる(事務局、各セクション、未広)。
Plan details of the conveners' evening and the international mixer luncheon including whom to invite.
- 4: 大会中に便利な英語案内システム提供の検討 (事務局)
English only participants will want instant access to English sessions.
- 5: 台湾からの参加研究者とのインフォーマルな会合 (木村ほか)
Kimura will host an informal meeting with participants from Taiwan.
- 6: MOU を結んでいる連合オフィサー会合の設定 (理事会、事務局)
Plan for a business meeting with Officers of AGU, EGU and AOGS during JpGU 2016 meeting.
- 7: 2018 年以降の計画の策定を開始する必要がある (GSC、JpGU)
Community would like to hear JpGU direction for years beyond 2017.

木村議長により 10 時に開会した。

議題 0. 前回議事録確認

会議終了時までに変更訂正提案は出なかった。これを持って承認とみなす。

議題 1. 第 5 回理事会報告

質問なし。

議題 2. 2016, 2017 の AGU との Joint について

- 1) 学生旅費援助の申し込み状況について
末広より別添資料 2 に基づき、報告された。42 件の申し込みのうち 15 名が海外からの申請であった。性別では女性は 10 名であった。浜野事務局長より予定総額（150 万円）について財務委員会の了承により 100 万円の増が見込めると報告があった。
配分は、国内海外それぞれ 50 万円が適当と認められる。
集計リストをもとに顕彰委員会により設置された小委員会の審査を依頼し顕彰委員会の判断を仰ぐ（Action Item 1）。
- 2) 国際セッションへの投稿状況について
末広より別添資料 3、4 の説明があった。浜野より投稿数は 2015 年の 3937 件から 4312 件に増え、国際化の効果が見られると報告された。委員より会員動向に関して質問があった（JpGU member societies に所属しない JpGU 会員など）（Action Item 2）。
- 3) 連合大会中の Conveners' evening と International Mixer Luncheon について

末広より資料 1 の 11 ページにそって説明があったのち議論を行った。
Conveners' evening について（末広担当）： JpGU では新しい試みだが、昨年の協定を結んでいる協会との親睦ディナーに代わるものである。招待者をコンベンナーに限定するのではなく 2017 年以降を見据えた交流の場とする。100-150 人以内を目途とし、出席の返事を求める（RSVP:ゲスト可）。夕食前の立食形式の軽食とする。

International Mixer Luncheon について（末広担当）：これは、昨年について実施しようとして予算化されているイベントである。昨年のアンケート、反省点をもとに向上をめざす。若手のリーダーシップによる運営が望ましい。また出席者間の活発な会話のリーダー（要名称）を各セクションから推薦してもらおう。

上記 2 イベントについて事務局で検討し再提案をする（Action Item 3）。

議題 3. 連合大会の bilingual 化について

およそ一時間余りの議論を行った。AGU ジョイントセッションの申請も予想を超える増であったこと、日本海洋学会の 2017 大会は JpGU として行うことが事実として確認された。

JpGU は日英両方の発表機会を与えて、英語しか解さない参加者にも英語訳併記などの手段により、内容をつかめるようにする方針（bilingual）については、異論がなかった。100%英語のセッションなどがすぐ検索できるシステムが便利であると指摘があった（Action Item 4）。

大会アプリの中で「英語発表のものだけリストアップする機能があると良い」という意見があったが、システム制作会社の ATLAS 社に確認したところ、2016 年大会には間に合わないが、2017 年には可能であるとの返事もらった。

JpGU とアジアの科学界との協力協調は、アジアの学会との共催も視野に入れるが、現在は草の根から始める段階にあるとの認識が木村議長から示された。その観点から 2016 年の参加が米国に次いで多い台湾の研究者とのインフォーマルな会合が提案され了承された (Action Item 5)。

JpGU は AGU, EGU, AOGS とのオフィサー会合を毎年持とうと提案したところであるので、2016 年はその機会となりうる (Action Item 6)。

2018 年以降の計画の策定を開始する必要がある (Action Item 7)。

12 : 10 閉会